

暮らしを支えた匠と技

1) 概要

近江八幡市域を取り囲む湖や山々の自然環境は、人々の暮らしの支えとなり、多くの生業を育みました。

西の湖のヨシ原は品質が良いことから、^{すだれ}簾、^{よしず}葎、^{よしど}葎戸といった暮らしを支える生活用品の材料として重宝されています。ヨシの茎が空洞であることを活かした**ヨシ製品**が多く開発されており、高級玉露の被覆栽培には今でも葎が使われています。文化庁が設定する「ふるさと文化財の森」には、文化財建造物の保存に必要な資材（ヨシ）の供給地として西の湖周辺の2か所（西の湖近江八幡葎生産組合葎地及び西の湖佐々木土地葎地）が設定されています。内湖沿岸ではまた、イグサが栽培され、製造された畳表は「**近江表**」の名のもと、八幡商人によって全国へと普及しました。

一方、琵琶湖の恵まれた水産資源により発展した漁業が、現在も沖島を中心に行われています。伝統漁法である**エリ漁（魷漁）**は、大島、奥津島神社文書にもその存在が確認されており、近年では、明治天皇が好んで食べたとされる^{ひがい}鯉を明治神宮に奉納しています。

また、市域の南に連なる山稜のうち、その名もあらかず“岩倉”山からは、古くから**石材**が産出され、切り出しの技術を持った当地の**石工**たちは、京都の三条大橋や方広寺大仏殿の普請に駆り出されました。明治時代以降は沖島でも石材業が盛んになり、琵琶湖水運を使った琵琶湖疎水や南郷洗堰・国鉄東海道線の材料として沖島の石材が使われ、文字通り近代日本の礎となっていきました。**石工文書**は、豊臣時代から近世・近代に及ぶ岩倉の石工の活動をうかがうことのできる貴重な資料です。

江戸時代、八幡町及び八幡商人が大きく発展を遂げた背景には、手工業の発達による良品の産出などが挙げられ、特に「**近江蚊帳**」は、八幡商人により全国に手広く手厚く売り捌かれたものとして有名です。また、近江八幡市を代表する産品である「**八幡瓦**」は、元禄期、京都より移住した瓦師寺本仁兵衛による本願寺八幡別院の瓦葺きがその始まりとも考えられますが、その材料となる瓦土や割木の原材料の輸送、製造された瓦の流通には八幡堀や琵琶湖の湖上交通が大きな役割を果たしており、土と水運という内湖の恵みを活かした循環型産業でありました。

明治時代になると、新しい建築資材として公共施設を中心に「**煉瓦**」が用いられます。当初、煉瓦製造に直接携わった人達の多くは瓦製造関係者であったといわれ、市内に残る旧中川煉瓦製造所ホフマン窯は、近畿圏における民間の煉瓦製造として極めて早いものであり、当時の面影を伝える貴重な近代化遺産です。

こうした八幡の発展の歴史は、現代の様々な産業に受け継がれています。京都を市場とした「**木珠**」の生産は、現在全国シェアの7割を占め、「**丁稚羊羹**」「**赤コンニャク**」「**丁子麩**」は地域の名産品となっています。また、松明祭りを支える太鼓の皮張りをはじめ、皮革や牛馬を取り扱った人々は、文明開化による生活の変化とともに、その生業を「**近江牛**」の生産や「**八幡靴**」の製造などへとつなげていきました。

また、「**ウロリ煮**」「**ギギの蒲焼き**」「**打ち豆汁**」などの**郷土料理**は、地域の気候や風土、産業、文化の中で育まれた食文化として、地域や家庭に大切に受け継がれています。

2) 構成歴史文化資産

種別	名称	類型
1	その他人文 主な伝統産業・特産品 (ヨシ製品、八幡靴、八幡瓦、木念珠、近江牛、赤こんにゃく、 丁稚羊羹、丁子麩等)	未指定
2	文化的景観 近江八幡の水郷	国選定文化財
3	文化的景観 西の湖	未指定
4	有形文化財 本願寺八幡別院 本堂、表門、鐘楼、裏門	県指定文化財
5	有形文化財 石工文書*	市指定文化財
6	有形文化財 かわらミュージアム収蔵物	未指定
7	その他自然 西の湖のヨシ群落	未指定
8	その他人文 岩倉山の採石跡	未指定
9	その他人文 沖島の石切場跡・丁場跡	未指定
10	その他人文 沖島漁港	未指定
11	その他人文 伝統漁法 (エリ漁、沖すくい網漁等)	未指定
12	その他人文 郷土料理 (ウロリ煮、ギギの蒲焼き、スジエビ、メズシ、小豆がゆ、 打ち豆汁等)	未指定
13	その他人文 八幡瓦で葺かれた建造物 (寺院、神社等)	未指定
14	有形文化財 旧中川煉瓦製造所 ホフマン窯、事務所、機械場、縄縫工場	国登録文化財
15	その他人文 1 キロ牛舎	未指定

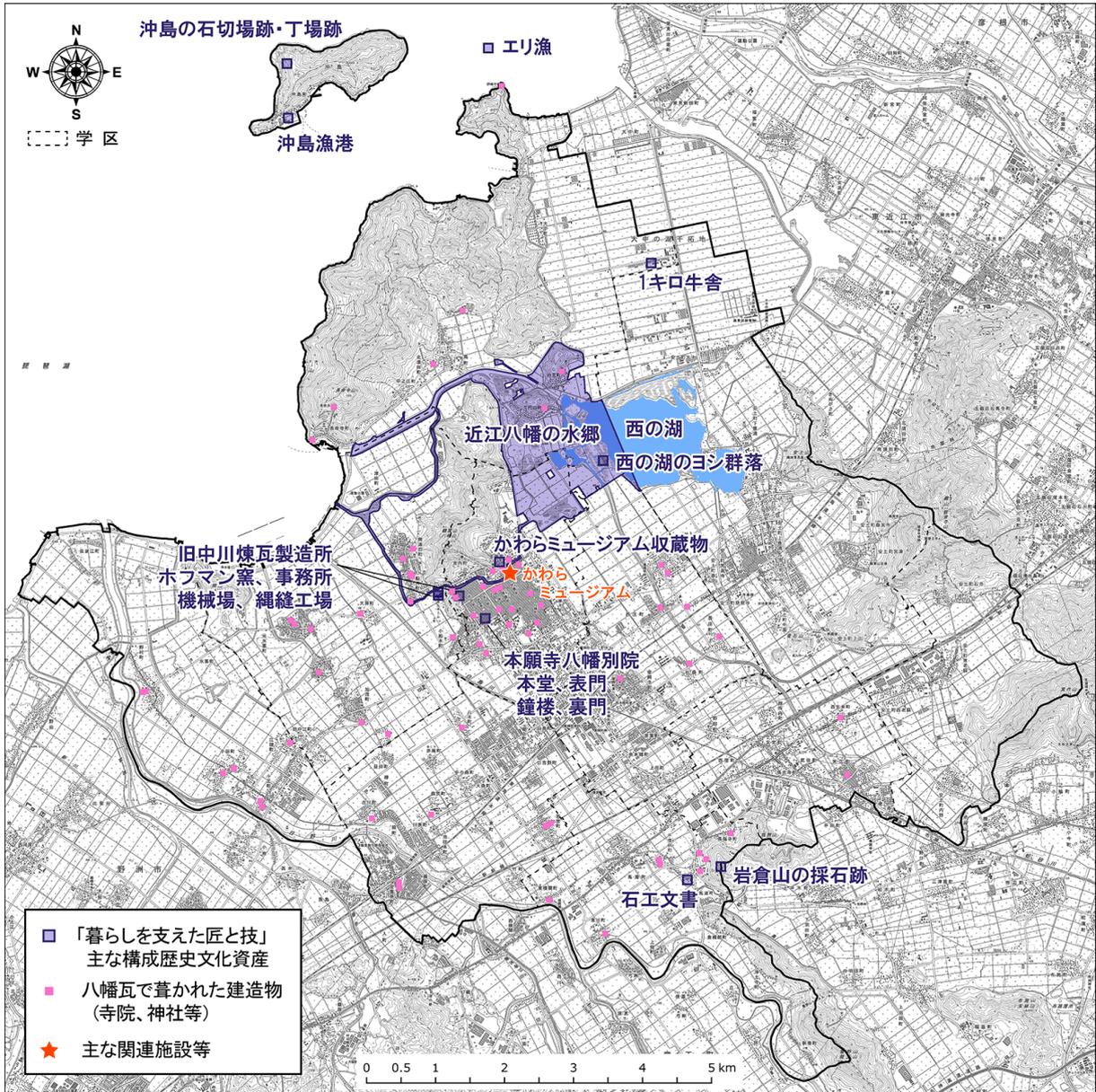
その他…上記伝統産業・特産品に関連する資産 (古文書、工芸品、民具等)、その他伝統産業・特産品 (淡水真珠、八幡押絵、竹細工、熊手、和菓子、鮎ずし、じゅんじゅん等) 及び関連する資産、採石・石積等に関連する資産、石工の手による石造物 (道標、常夜灯等) 等

※市外に所在、または市内外の美術館等に寄託している資産

3) 保存・活用の核となる関連施設等

かわらミュージアム (八幡) など

「暮らしを支えた匠と技」主な構成歴史文化資産等の分布



※市外に所在、または市内外の美術館等に寄託している資産について元の所在地情報に基づき場所を示している



ヨシの丸立て



ヨシ製品



岩倉山の採石跡



石工文書



八幡瓦



八幡靴



赤こんにやく



エリ漁